

## 中野市教育委員会指定文化財候補調査票

報告年月日：令和3年7月28日

調査者：吉澤政己

報告者：大滝敦士

## 1 種別

有形文化財

## 2 名称

小内八幡神社輪橋

## 3 員数

1点

## 4 所在地及び所有者・権原者

所在地：中野市大字安源寺 権原者：片山 求

## 5 内容

小内八幡神社（大字安源寺）に存在する輪橋である。吹放ちの上屋のある幅1.5m、長さ3.6m、木造の太鼓橋。

## 6 現状

現在、小内八幡神社宮司・片山 求氏が管理している。

## 7 由来・伝来

小内八幡神社に保存されている棟札によると、寄進造営は飯山藩主松平遠江守忠親（のち忠俱）である。寛文5年(1665)に再建され、普請奉行は山川二郎左衛門尉堅門・河藤彦六尉正平、大工は太田半之丞重芳である。

## 8 保存方法

現在地に所在。

## 9 その他参考事項

特になし。

## 10 保護指定についての調査者の意見

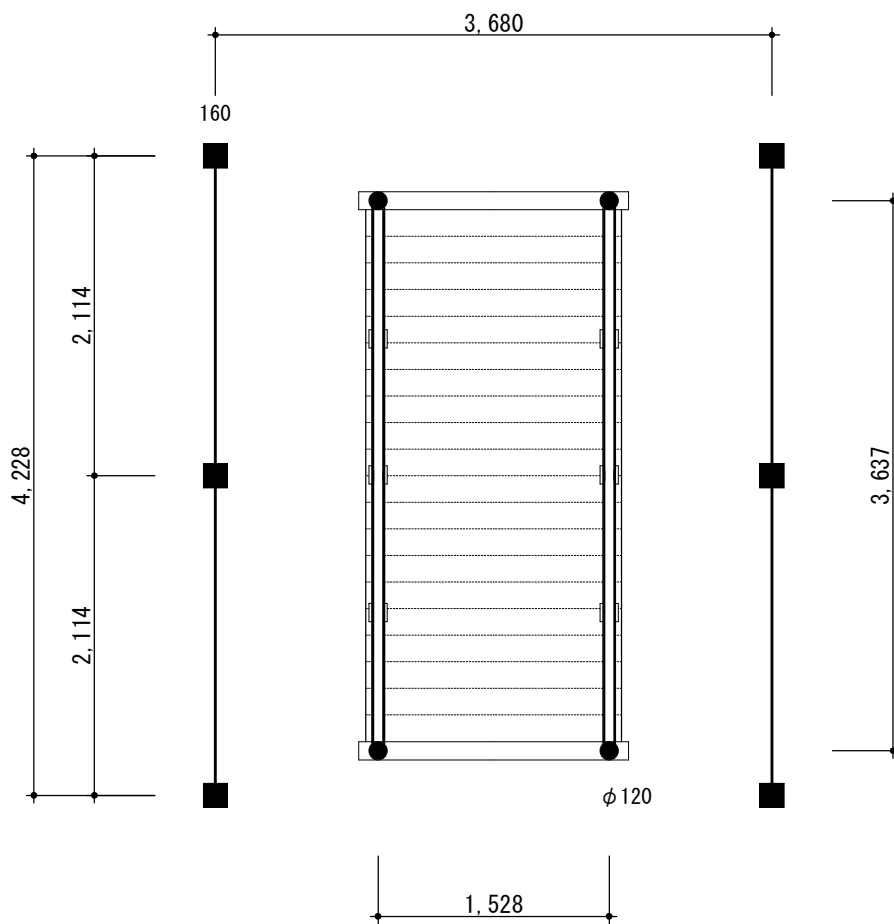
輪橋の擬宝珠柱などの様式からみて、寛文5年(1665)の棟札にある橋がそのまま残されていると考えられる。木造の輪橋は市内の神社では他に類例がなく、江戸時代前期の姿をそのまま今に伝える貴重な建築物であり、中野市にとって貴重な文化財である。

## 11 参考文献

信濃建築史研究室・吉澤政己『小内八幡神社 建築史資料調査報告書』（1994）



小内八幡神社輪橋



タイトル		小内八幡神社 建築史資料調査		中野市	
図面名称	輪橋 平面図			縮尺	1 : 50
調査年月日	180706			図面番号	/
				信濃建築史研究室	